



# レーマン人サムエル、 イエス・キリストについて 話す

だい40しょう



レーマン人は、神のいましめをまもったので、ニーファイ人よりも正しいたみになりました。(ヒラマン13:1)



レーマン人のよげんしゃサムエルは、ゼラヘムラの地へ行って、あくじをつづけるニーファイ人に、くいあらためをのべつたえました。(ヒラマン13:2)



けれどもニーファイ人は、サムエルをゼラヘムラからおい出してしまうしました。サムエルは、自分の國へかえろうとしました。(ヒラマン13:2)



しかし主は、サムエルに言われました。「ゼラヘムラにもどりなさい。そして、わたしがあなたの心のなかにしめすことを、たみに話さない。」(ヒラマン13:3)



ニーファイ人は、サムエルを町の中へ入れようとしませんでした。そこでサムエルは、町のじょうへきにのぼって、大声でたみに話しました。(ヒラマン13:4)



「くいあらためて、イエス・キリストを信じなければ、400年たないうちに、ニーファイ人はほろびる。」(ヒラマン13：5-6)



「イエス・キリストは、もう5年たつと、お生まれになる。イエスをしんじるすべての人をすくうために来られる。」(ヒラマン14：2)



サムエルは、キリストがお生まれになる時のしるしについても話しました。新しい星があらわれ、イエスがお生まれになる前の夜はくらくらしないとよげんしました。(ヒラマン14：3-5)



それからサムエルは、イエスのしるしについても話しました。「その時には3日の間、まったく光がない。たいようも、月も、星もかがやかない。」(ヒラマン14：20)



「また、かみなりと、いなすまと、じしんがある。山がくずれ、多くの町があれはてる。」(ヒラマン14：21-24)



サムエルのことばをしんじたニーファイ人は、つみをくいあらため、ニーファイをさがしに行きました。正しいニーファイ人であるかれからバプテスマをうけるためです。(ヒラマン16：1)



しかし、サムエルのことばをしんじない人もいました。その人たちは、サムエルに石をなげつけたり、矢をいかけたりしました。しかし、主がサムエルをまもられたので、石も矢もあたりませんでした。(ヒラマン16:2)



当てることのできないのを見て、さらに多くの人サムエルのことばをしんじました。そして、バプテスマをうけるために、ニーファイのもとへ行きました。(ヒラマン16:3)



ニーファイは、イエスについても教えました。それは、たみにイエスをしんじて、くいあらため、バプテスマをうけてほしかったからです。(ヒラマン16:4-5)



しかし、たみの大半は、サムエルのことばをしんじませんでした。そして、サムエルをとらえようしました。(ヒラマン16:6)



サムエルは、じょうへきからとびおりて、自分の国へ帰って行きました。(ヒラマン16:7)



そして、自分のために教えはじめました。それいらい、サムエルがニーファイ人をおとすれたという話はいちどもありません。(ヒラマン16:7-8)